

非 常 配 備 要 員 報 告 書

部 班 非常配備要員名簿 (課)

(部 長 人 班 長 人 第 3 配 備 人)
 (第 1 配 備 人 第 2 配 備 人)

配備区分	担 当 名	氏 名	住 所	登 庁 方 法	電話場号	備 考
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		
				徒歩・自動車 その他 ()		

- (注) 1 配備区分欄は、非常連絡員、第1、第2、第3又は避難所と記入すること。
 なお、初動体制による防災要員は、備考欄に○を記入すること。
 2 登庁方法欄は、徒歩、自転車、その他いずれかを○で囲み、その他については方法を記入すること。
 3 電話番号欄は、呼出しも含めなるべく記入すること。
 4 所属職員中の避難所要員について記入漏れのないよう注意すること。

様式第2

応 援 職 員 要 請 書
様

令和 年 月 日

部 長

期 間	令和 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 日間
勤務(従事)場所	
勤務(従事)内容	
必 要 人 員	男 人 女 人 計 人
携 帯 品	
集合日時・場所	令和 年 月 日 時 分
その他参考事項	

様式第3

職 員 動 員 状 況 通 報 書

() 部、() 班、職員数() 名	
班長() 課長	登庁者 時 分現在() 名

役 職	氏 名	性別	備 考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

様式第4

被 害 状 況 速 報

月 日		時 分現在		聴取先 状 況			取扱者名	
種別		全 壊	全 焼	流 失	半 焼	床上浸水	床下浸水	計
住 宅	地区名							
	戸 数							
	地区名							
	戸 数							
	地区名							
	戸 数							
非 住 宅	地区名							
	戸 数							
	地区名							
	戸 数							
	地区名							
	戸 数							
人 的	地区名							
	死亡者							
	病床者							
農 地					道 路 河 川 堤 塘			
地 区 名		被 害 状 況			地 区 名		被 害 状 況	
備 考								

災 害 発 生 直 後 の 状 況

原 因						発 生 日 時							
発 生 場 所			市・郡			区・町・村							
受 発 信 時 刻			月 日			時 分							
発 信 機 関						発 信 者							
受 信 機 関						受 信 者							
区 分			被 害		区 分		被 害		被害程度及び応急対策状況(経過)				
人 的 被 害	死 者		人		そ の 他	鉄道不通		か所					
	行方不明		人			水 道		戸					
	負 傷 者	重 傷 者		人		電 話		回線					
		軽 傷 者		人		電 気		戸					
				ガ ス		戸							
住 家 被 害	全 壊		棟		災 害 対 策 本 部 設 置 状 況		設置						
			世帯				廃止						
			人				避 難 の 勧 告 指 示 等 の 状 況		地区				
	半 壊		棟		人								
			世帯										
			人		避 難 ヶ 所		地区						
	一 部 破 壊		棟		避 難 人 数		人						
			世帯		要 請 事 項								
			人										
	床 上 浸 水		棟										
世帯													
人													
床 下 浸 水		棟											
		世帯											
		人											
そ の 他	道 路	損 壊		か所									
		冠 水		か所									
		(通行不能)		か所									
	橋りょう		か所										
	河 川	破 堤		か所									
		越 水		か所									
		そ の 他 法 面 崩 壊 等		か所									
	砂 防		か所										
	崖 崩 れ		か所										
	地 す べ り		か所										
土 石 流		か所											

災害発生状況等（速報・確定報告）

年 月 日 時現在

原 因				発 生 日 時							
発 生 場 所											
受 発 信 時 刻		令 和 年 月 日 時 分									
発 信 機 関				発 信 者							
受 信 機 関				受 信 者							
区 分		被 害		区 分		被 害					
人的被害	死 者	1	人	河川	橋りょう	31	か所	その他	水産被害	61	千円
	行方不明者	2	人		破 堤	32	か所		商工被害	62	千円
	重傷者	3	人		越 水	33	か所		そ の 他	63	千円
	軽傷者	4	人		そ の 他 (法面崩壊等)	34	か所		被 害 総 額	64	千円
住家被害	全 壊	5	棟	その他	港湾・漁港	35	か所	災害対策本部 設置状況	65	設置	
		6	世帯		砂 防	36	か所	避難の勧告	67	地区	
		7	人		清掃施設	37	か所	指示等の状況	68	人	
	半 壊	8	棟		崖くずれ	38	か所	消防職員出動延人員	69	人	
		9	世帯		地すべり	39	か所	消防団員出動延人員	70	人	
		10	人		土 石 流	40	か所	避難所数		か所	
	一部損壊	11	棟		鉄道不通	41	か所	避難人数		人	
		12	世帯		被害船舶	42	隻	避難人員(うち自主)		人	
		13	人		水 道	43	戸	避難世帯数		世帯	
	床上浸水	14	棟		電 話	44	回線	避難世帯(うち自主)		世帯	
		15	世帯		電 気	45	戸	被害程度及び応急対策状況(経過)			
		16	人		ガ ス	46	戸				
	17	棟	ブロック塀等		47	か所					
	床下浸水	18	世帯		被災世帯数	48	世帯				
		19	人		被災者数	49	人				
非住家	公共建物	20	棟	火災発生	建 物	50	件				
	その 他	21	棟		危 険 物	51	件				
その他	田	流出・埋没	22	ha	その他	そ の 他	52	件	要 請 事 項		
		冠 水	23	ha		公立文教施設	53	千円			
	畑	流出・埋没	24	ha	林水産業施設	54	千円				
		冠 水	25	ha	共土木施設	55	千円				
	文教施設	26	か所	その他の公共施設	56	千円					
	病 院	27	か所	小 計	57	千円					
	道路	損 壊	28	か所	その他	農産被害	58	千円			
		冠 水	29	か所		林産被害	59	千円			
(うち通行不能)		30	か所	畜産被害		60	千円				

(注) 速報の場合は53から64までの項目については報告する必要はない。

防 災 警 報 等 の 伝 達 簿

市 長		副 市 長		部 長		課 長		課 長 補 佐		主 査		担 当	
警報、注意報、情報対策 通報等 の種類及び名称													
発 表 年 月 日				令 和 年 月 日 時 分 現 在									
伝 達 機 関								発 信 担 当 者					
								受 信 担 当 者					
本						文							

防 災 警 報 等 の 伝 達 簿

市 長		副 市長		部 長		課 長		課 長 補 佐		主 査		担 当	
災 害 の 原 因													
災 害 の 発 生 年 月 日		令和 年 月 日 時 分											
災 害 の 発 生 場 所													
報 告 の 時 間		日 時現在				受 信 時 刻				時 分			
発 信 機 関						受 信 機 関							
発 信 担 当 者						受 信 担 当 者							
内 容													

人 的 被 害

(第 報)

報 告 の 時 間	日 時 分現在	受 信 時 刻	時 分
発 信 機 関		受 信 機 関	
発 信 者 名		受 信 者 名	
内 容			
発 生	日 時	月 日	時 分
	場 所		
	原 因		
人 的 被 害 の 状 況	被害程度	1. 死亡 2. 行方不明 3. 重傷 4. 軽傷	
	氏 名 等	(氏名)(生年月日)(性別)	
	住 所		
	収 容 先		
	その他参考事項(応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等)		

公 共 施 設 被 害

(第 報)

報 告 の 時 間		日 時 分現在	受 信 時 刻	時 分
発 信 機 関			受 信 機 関	
発 信 者 名			受 信 者 名	
内 容				
被 害 区 分		ア 河川 才 港湾・漁港 ケ 電力	イ 海岸 カ 道路 コ ガス	ウ 貯水池・ため池等 キ 鉄道 サ 水道 シ その他 ()
発 生	日 時	令和 年 日 時 分		
	場 所			
	原 因			
状 況	被害区域 区 間			
	管 理 者	(電話)		
	被害程度 (概 要)			
	応急対策 の 状 況			
	復旧見込			
	そ の 他 参 考 事 項			

被災状況調査表

(調査日) 令和 年 月 日
 (被災日) 令和 年 月 日

地区名		町名		世帯主名					
住所				電話					
世帯構成人員							計人		
氏名									
世帯主との続柄									
生年月日									
年齢									
性別	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女			
職業									
勤務先 学校名(学年)									
人的被害の 状況									
被災 状況	住家の被災概況			非住家の被災概況			備考		
	全壊 (焼失・流失)	%	所有地 借地 持ち家 借家 間借り	延べ 面積	全壊 (焼失・流失)	%		所有地 借地 持ち家 借家 間借り	
	半壊	%		m ²	半壊	%			m ²
	一部損壊	%		被災 面積	一部損壊	%			被災 面積
	床上浸水	%		m ²	床上浸水	%			m ²
	床下浸水	%			床下浸水	%			
生活 程度	上	調査担当課名		課	担当	被災の状況			
	中	調査担当課名			・				
	下	調査担当課名			・				
	生保	調査担当課名			・				

- ※ 全壊 = 延べ面積の70%以上
- ※ 半壊 = 延べ面積の20%~70%未満
- ※ 一部損壊 = 全壊及び半壊に至らない程度の破損

災 害 の 被 害 認 定 基 準

死 者	当該災害が原因で死亡し、死体を確認したもの、又は死体を確認することができないが死亡したことが確実なものとする。
行方不明者	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるものとする。
重 傷 者 軽 傷 者	災害のため負傷し、医師の治療を受け又は受ける必要のある者のうち、「重傷者」とは1月以上の治療を要する見込みの者とし、「軽傷者」とは、1月未満で治療できる見込みの者とする。
住家全壊 (全焼・全流失)	住家はその居住のための基本的機能を喪失したもの、すなわち、住家全部が倒壊、流失、埋没、焼失したもの、又は住家の損壊が甚だしく、補修により元通りに再使用することが困難なもので、具体的には、住家の損壊、焼失若しくは流失した部分の床面積がその住家の延床面積の70%以上に達した程度のものである又は住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が50%以上に達した程度のものとする。
住家半壊 (半 焼)	住家はその居住のための基本的機能の一部を喪失したもの、すなわち、住家の損壊が甚だしいが、補修すれば元通りに再使用できる程度のもので、具体的には損壊部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満のもの、又は住家の主要な構成要素の経済的被害を住家全体に占める損害割合で表し、その住家の損害割合が20%以上50%未満のものとする。
住 家	現実に居住のための使用している建物をいい、社会通念上の住家であるかを問わない。
非 住 家	住家以外の建築物をいうものとする。なお、官公署、学校、病院、公民館、神社、仏閣等は非住家とする。ただし、これらの施設に、常時、人が居住している場合には、当該部分は住家とする。

- (注) 1 住家被害戸数については「独立して家庭生活を営むことができるように建築された建物又は完全に区画された建物の一部」を戸の単位として算定するものとする。
- 2 損壊とは、住家が被災により損傷、劣化、傾斜等何らかの変化を生じることにより、補修しなければ元の機能を復元し得ない状況に至ったものをいう。
- 3 主要な構成要素とは、住家の構成要素のうち造作等を除いたものであって、住家の一部として固定された設備を含む。

被 災 台 帳

					被害の程度			
世 帯 主 (又はこれに 代わるもの)	住 所							
	氏 名		年 齢		職 業			
被災状況								
家 族 の 状 況								
氏 名	年 齢	続 柄	職 業	災 害 に よ る 死 亡 別		備 考		
被災証明書の発行		仮被災証明書		月 日		本被災証明書		月 日
災害救助による応急救助の状況				(世帯内の者で下欄の救助を受けたもの があるときは、() でかこむこと。)				
避 難 所		生 業 資 金 の 貸 与			学 用 品 の 給 与			
炊出しその他の食品給与		被服寝具その他生活必需品 の給 与 又 は 貸 与			埋 葬			
応 急 仮 設 住 宅		医 療			死 体 の 処 理			
住 宅 応 急 修 理		助 産			障 害 物 の 除 去			
(記載事項)								

第 号

仮 被 災 証 明 書

被災者住所 犬山市

世帯主氏名

1 被災の種別 水 害 震火災 その他

2 被害の状況 全壊 全焼 流失 半壊 半焼 床上浸水

3 被災世帯員 名

うち 大人 { 男 名
女 名 } 小人 { 男 名
女 名 } 乳幼児 名

上記のとおり被災したことを証明する。

令和 年 月 日

犬 山 市 長

この証明書は 月 日本証明書と切替えますから必ず持参してください。

第 号 被 災 証 明 書				
世帯主住所				
氏 名				世帯人員 名
被災事項	災害の原因	水害	震火災	その他
	被災年月日	令和	年	月 日
	被災場所			
	被災状況			
世帯人員	氏 名	続 柄	年 齢	備 考
備 考				
<p>上記のとおり被災したことを証明する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>犬 山 市 長</p>				

避 難 所 受 入 台 帳

犬山市

避難所

開 設 時 間	月 日 時 分	閉 設 時 間	月 日 時 分	配 置 職 員 名		
責 任 者 認 印	月 日	受 入 人 員	物 品 使 用 状 況		記 事	備 考
			品 名	数 量		
計						

- (注) 1 「受入人員」欄は当日の最高受入人員数を記入し、受入人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 3 他市町村の住民を受入したときは、その住所氏名及び受入期間を「備考」欄に記入すること。

避 難 所 用 物 資 受 払 簿

品 名		単位呼称				
年月日	摘 要		受	払	残	備 考

- (注) 1 「摘要」欄には購入又は受入れ先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

避難状況・救護所開設状況

(第 報)

報告の時刻		日 時 分現在		受信時刻		時 分	
発信機関				受信機関			
発信者名				受信者名			
内 容							
避難状況	避難先	地区名	避難の勧告、指示の種別及び日時	世帯数	人数	屋内屋外の別	今後の見通し
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋 内 外 屋 内 外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋 内 外 屋 内 外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋 内 外 屋 内 外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋 内 外 屋 内 外	
救護所開設状況	救護所名		設置場所		収容人数		実施機関
					重傷	軽傷	

伺	本部長	副本部長	部長	班長	担当者
下欄のとおり決定の上、申請人に通知してよろしいか。					
<p>応 急 仮 設 住 宅 入 居 申 請 書</p> <p>今次 による災害のため住家を滅失したので災害救助法第23条により応急仮設住宅の入居を申請します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="padding-left: 200px;">住 所</p> <p style="padding-left: 200px;">氏 名</p> <p>犬山市長 様</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>添付書類</p> <p>1 被災証明書</p> <p>2 建築予定地の有無(見取図添付)</p> <p>※ 記入しないでください。</p>					
許可の可否	入居させる住宅	世帯人員	その他特記事項		
可 ・ 否					
却下の理由					

決 定 通 知 書

住 所

氏 名

令和 年 月 日付けをもって申請のあった応急仮設住宅入居については、
次のとおり決定したので通知します。

令和 年 月 日

犬山市長

記

- 1 申請については許可（却下）します。

却下の理由

- 2 犬山市との間に応急仮設住宅入居契約を直ちに行ってください。

（本状及び印鑑持参の上市役所においでください）

条 件

- 1 応急仮設住宅入居の期間は入居の日から2年間以内であること。
従ってその間に他に住居を移すよう努力すること。
- 2 この住宅は他の者に絶対貸さないこと。
- 3 この住宅を返還するときは入居のときと同じ状態にしておくこと。

様式第21

応 急 仮 設 住 宅 入 居 者 台 帳

応急仮設 住宅番号	住 所	世帯主氏名	家族数 人	入居年月日	敷地区 区分	摘 要

- (注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、なお参考として設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付しておくこと。
 2 「住所」欄は、被災前の住所を記入すること。
 3 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
 4 「敷地区分」欄は、公私有別とし有無償の別をも明らかにしておくこと。
 5 「摘要」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。
 例えば「 年 月 日公営住宅に入る、現在空家」又は「 年 月 日増築許可」等

様式第22

炊 出 し 受 給 者 名 簿

犬山市

炊出し場所

責任者氏名

世帯主氏名	家族数	給 与 内 訳												備 考		
		月 日			月 日			月 日			月 日				合 計	
		朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕			

品 名	単位呼称	日 別 使 用 量					合 計

- (注) 1 「朝」「昼」「夕」欄には、受給食数を記入すること。
 2 他市町村の住民であるときは、その住所を「備考」欄に記入しておくこと。

様式第23

食 料 品 現 品 給 与 簿

給与年月日	給与人数	食数	給与物品内訳					受領者					備考	
			米	食パン	缶詰			住所	世帯主名	家族数	受領印	避難先市町村名		

様式第24

炊 出 し 給 与 物 品 受 払 簿

品名		単位呼称				
年月日	摘 要		受	払	残	備 考

- (注) 1 「摘要」欄に購入又は受入れ先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受払残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第25

炊 出 し 用 物 品 借 用 簿

品 名	数 量	期 間	金 額	所有者(管理者)氏名	使用避難所の名称	備 考

(注) 「期間」欄は「〇月〇日から〇月〇日まで〇日間」と記入すること。

様式第26

飲 料 水 供 給 記 録 簿

供 給 年 月 日	供給地区	対象 人員	供 給 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有者(管理者)氏名		

- (注) 1 「対象人員」欄の人数は概数で記入して差支えないこと。
 2 給水用機械器具は借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に借上額を記入すること。

様式第27

給水用機械器具燃料及び浄水用薬品資材受払簿

品名	単位呼称				
年月日	摘要	受	払	残	備考

- (注) 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第28

給水用機械器具修繕簿

給水用機械器具の名称	所有者(管理者)氏名	故障年月日	故障の概要	修繕年月日	修繕費	備考

- (注) 1 「故障の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

物資購入（配分）計画表

品名	単価（円）	1人世帯				2人世帯				3人世帯				4人世帯				備考
		数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	
計																		

- (注) 1 本表は全壊（焼）流失世帯分と半壊（焼）床上浸水世帯分に分けて作成すること。
 2 「品名」欄は寝具、被服、生活必需品の順に記入すること。
 3 各品目ごとの「備考」欄に都道府県調達分と市町村調達分を明らかにしておくこと。

物資受払簿

品名		単位呼称				
年月日	摘要		受	払	残	備考

- (注) 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 市の場合においては最終行欄に都道府県よりの受入分及び市調達分に受払残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第31

物 資 配 給 及 び 受 領 簿

住家被害 程度区分		給与の基礎 となった世 帯構成員数	人 { 災害発生時世帯構成人 人 } { 員数のうち 死亡者数 人 }
--------------	--	-------------------------	--

災害救助用物資として、下記内訳のとおり受領しました。

令和 年 月 日

住 所

世帯主 氏名

給 与 年月日	品 名	数 量	備 考	給 与 年月日	品 名	数 量	備 考

(注) 被災者の受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日とすること。

様式第32

医 療 救 護 班 診 療 記 録

〇〇医療救護班

班長 医師 氏名

年月日	氏 名	患者氏名	年齢	病 名	処置概要	備 考

様式第33

医療救護班衛生材料使用簿

医療救護班

班長 医師 氏名

医薬品衛生材料名	単位呼称	単価	摘要	受	払	残	備考

- (注) 1 本簿は救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を明らかにするものである。
 2 「摘要」欄に受け入れ先を記入すること。
 3 「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入しておくこと。

様式第34

医療救護班の編成及び活動記録

期間	診療患者数	死体検案数	班の編成	班長職氏名	備考
月 日から 月 日まで } 日間					

- (注) 1 「診療患者数」は、延人員を記入すること。
 2 「班の編成」は、職種ごとの人員数を記入すること。

様式第35

医 療 品 衛 生 材 料 受 払 簿

品名		単位呼称				
年月日	摘 要		受	払	残	備 考

- (注) 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第36

病 院 ・ 診 療 所 医 療 実 施 状 況

診療機関名	診療期間	診療人員		診療報酬 点数	金 額 円	備 考
		入 院	通 院			

- (注) 「診療人員」は延人員数を記入すること。

様式第37

助 産 台 帳

分 べ ん 者			分べんの 日時場所	助 産 機関名	期 間	金 額 円	備 考
住 所	氏 名	年 齢					

様式第38

被 災 者 救 出 状 況 記 録 簿

年月日	救出地区	救出人員	救出用機械器具			金 額 円	備 考
			名 称	数 量	所有者(管理者) 氏 名		

(注) 救出用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみその借上費を「金額」欄に記入する。

様式第39

被災者救出用機械器具燃料受払簿

品名	単位呼称					
年月日	摘要	受	払	残	備考	

- (注) 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価又は購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第40

被災者救出用機械器具修繕簿

機械器具の名称	所有者(管理者)氏名	故障年月日	故障の概要	修繕年月日	修繕費	備考

- (注) 「故障の概要」欄は、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

様式第41

伺	本部長	副本部長	部長	班長	担当者												
下欄のとおり決定の上、申請人に通知してよろしいか。																	
<p>災害救助法による住宅応急修理申請書</p> <p>今次 による災害のため家屋に別添のとおり被害を受けたので災害救助法第23条 による住宅の応急修理を申請します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">住 所</p> <p style="text-align: right;">氏 名</p> <p>犬山市長 様</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>添付書類 1 被災証明書 2 応急修理見積書 3 被害家屋の位置図</p> <p>※ 記入しないでください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">許可の可否</th> <th rowspan="2">工事期限</th> <th rowspan="2">工事費</th> <th colspan="2">施 工 者</th> </tr> <tr> <th>氏 名</th> <th>住 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">可 ・ 否</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>却下の理由</p>						許可の可否	工事期限	工事費	施 工 者		氏 名	住 所	可 ・ 否	年 月 日	円		
許可の可否	工事期限	工事費	施 工 者														
			氏 名	住 所													
可 ・ 否	年 月 日	円															

決 定 通 知 書

住 所
氏 名

令和 年 月 日付けをもって申請のあった家屋の応急修理申請については、
次のとおり決定したので通知します。

令和 年 月 日

犬山市長

記

1 申請については許可（却下）します。

却下の理由

2 工事者には次の条件で工事を行わせてください。

- (1) 令和 年 月 日までに工事完了のこと
- (2) 工事が完了したときは、その旨市役所に連絡し、検査を受けること。
- (3) 工事費は申請書に添付された見積書の額以内のこと。

様式第42

住 宅 応 急 修 理 記 録 簿

住 所	世帯主氏名	職業	家族数	修理箇所概要	修 理 工 着 工 年 月 日	修 理 了 完 了 年 月 日	修理費 円	備 考

(注) 備考欄には、業者名を記入すること。

様式第43

生 業 ・ 就 職 支 度 資 金 貸 付 台 帳

貸与を受けた者				保証人		事業計画概要	貸 与 額 貸 金	貸 与 期 間 貸 期	備 考
住 所	氏 名	年 齢	職 業	住 所	氏 名				

- (注) 1 貸与年月日と借用証書の借用年月日は符合するものであること。
 2 「貸与期間」欄は「年 月 日まで 年 月間」と記入すること。
 3 「備考」欄には償還状況等のてん末を明らかにしておくこと。

様式第44

伺	本部長	副本部長	部長	班長	担当者
下欄のとおり決定の上、申請人に通知してよろしいか。					
<p>生業・就職支度資金貸与申請書</p> <p>今次 による災害のため生業の手段をそう失した（又は新たに 就職したい 生業を始めたい ）</p> <p>ので災害救助法第4条による 資金の貸与を申請します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="padding-left: 250px;">住 所</p> <p style="padding-left: 250px;">氏 名</p> <p>犬山市長 様</p> <p style="padding-left: 250px;">記</p> <p>1 金 額 円</p> <p>2 添付書類</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 被災証明書</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 生業の計画書</p> <p>3 民生委員の意見</p> <p>※ 記入しないでください。</p>					
許可の可否	受付金額	世帯人員	その他特記事項		
可 ・ 否					
却下の理由					

決 定 通 知 書

住 所
氏 名

令和 年 月 日付けをもって申請のあった 資金の貸与については、
次のとおり決定したので通知します。

令和 年 月 日

犬山市長

記

1 申請については許可（却下）します。
却下の理由

2 連帯保証人1名を設定の上、別紙借用証書に必要事項を記入捺印して市役所に
持参してください。
なお本状及び印鑑もご持参ください。

災 害 救 助 法 に よ る 資 金 借 用 証 書

金							円
---	--	--	--	--	--	--	---

た だ し

と して

貸付の条件

1 償還の方法

令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
 月賦による 回償還

2 利子 無利子

上記の通り借用いたしました。

ついては上記の条件を固く守り、市の指示に従って相違なく返還することを誓います。

令和 年 月 日

住 所

借受人

氏 名

上記について借受人と連帯して返還することを誓います。

住 所

連帯保証人

氏 名

犬山市長 殿

様式第46

学用品購入（配分）計画表

	品名	単価	全壊流出分			半壊床上浸水分			合計		備考
			児童数	数量	金額	児童数	数量	金額	数量	金額	
小学校											
中学校											
計											

- (注) 1 本表は、学用品のうち、文房具及び通学用品のみとし、教科書(教材を含む。)については、別途適宜作成するものであること。
 2 県調達分があるときは、その旨各品目ごとに「備考」欄に明らかにしておくこと。

様式第47

学用品交付簿

住家の被害区分	学年	児童(生徒)氏名	親権者住所名	受領印	給与品内訳					給与年月日	備考

(注) 本簿は、小中学生別とすること。なお学校ごとに別に作成しても差し支えない。

様式第48

死 体 搜 索 状 況 記 録 簿

年月日	搜索地区	搜索死体	死体搜索用機械器具			金額	備考
			名称	数量	所有者(管理者) 氏 名		

(注) 搜索用機械器具は借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を金額欄に記入すること。

様式第49

死 体 搜 索 用 機 械 器 具 燃 料 受 払 簿

品名	単位呼称				
年月日	摘 要	受	払	残	備 考

(注) 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に購入単価又は購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第50

死 体 搜 索 用 機 械 器 具 修 繕 簿

機械器具の 名 称	所有者 (管理者) 氏 名	故 障 年 月 日	故障の概要	修 繕 年 月 日	修繕費	備 考

(注) 「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

様式第51

死 体 処 理 台 帳

死亡年月日	死亡原因	死体発見の日時及び場所	死亡者		遺族		洗浄等の処理費			死体一時保管場所及び保存の期間	備考
			住所氏名	年齢	住所氏名	死亡者との関係	品名	数量	金額		

様式第52

埋 火 葬 台 帳

死亡年月日	死亡原因	埋火葬年月日	死亡者		埋火葬を行った者		埋火葬費			備考
			住所名 氏名	年齢	死亡者の係 と関	住所名 氏名	棺 (付属品 含む) 円	埋火葬 又は焼 火葬料 円	骨箱 円	

- (注) 1 埋火葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入しておくこと。
 2 市長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにしておくこと。
 3 埋火葬を行った者に埋火葬費を支給したときはその旨及び金額を「備考」欄に記入しておくこと。

様式第53

障 害 物 除 去 の 状 況 記 録 簿

住家被害程度区分	住所	氏名	職業	家族数	除去を要すべき状態の概要	除去に要した期間 日間	金額	備考

ボランティア団体等受入れ記録簿

月 日	団 体 名	代 表 者 名	人 員	依頼した業務	期 間

臨時賃金職員等勤務状況表

住 所	氏 名	年齢	単価	月 分			基本金額		割増賃金		計	備考
				日	日		日数	金額	時間	金額		
				日	日							
計	名											

上記のとおり勤務したことを証明する。

令和 年 月 日

課 長

- (注) 1 救助種目ごとに別冊又は別項とすること。
 2 時間外勤務に従事させた場合はその時間数を「日別」欄に記入しておくこと。
 3 必要に応じ「賃金受領」欄に設けて差支えないこと。
 4 適当箇所に勤務証明の契書をしておくこと。

輸 送 記 録 簿

年月日	目 的	輸送区間		使用車両船舶等		輸送担当者	金 額 円	備 考
		区 間	距 離	種 類	台 数			

- (注) 1 必要に応じ、市の車両等による場合とその他の場合に区分し、別項として差支えないこと。
 2 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 3 市の車両等による場合は、輸送担当者欄に車両番号等を記入すること。
 4 借上げ車両等による場合は、有無償の別を問わず記入すること。
 5 「金額」欄は、運送費又は車両等の借上費を記入すること。

様式第57

燃 料 及 び 消 耗 品 受 払 簿

品 名		単位呼称				
年月日	摘 要		受	払	残	備 考

- (注) 1 必要に応じ市有の車両等に対する分とその他の車両等に対する分と別冊又は別項として差支えないこと。
 2 「摘要」欄に購入先又は受入れ先及び払出先を記入すること。
 3 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 4 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第58

修 繕 費 支 払 簿

輸 送 年月日	目 的	故 障 年月日	故 障 場 所	故 障 車 両 等		故 障 の 概 要	修 繕 年月日	修 繕 費	備 考
				名称番号	所有者氏名				

- (注) 1 必要に応じ市有の車両、その他の車両等による分とを別項として差支えないこと。

応 援 受 入 簿

期 間	要 請 先	人 員	救 護 内 容	備 考

年 月 日	
緊 急 通 行 車 両 等 確 認 申 請 書	
愛知県公安委員会 殿	
申請者 住所 (電話) 氏名	
番号標に表示されている番号	
車 両 の 用 途 (緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名)	
使用者	住 所 (電 話) 氏 名 () 局 番
通 行 時 間	
通 行 経 路	出 発 点
	通 行 目 的
備 考	

(注) 用紙は、日本工業規格A4とする。

犬 第 号
年 月 日

愛知県知事 殿

犬山市長

部 隊 等 の 派 遣 要 請 書

1. 災害の情况及び派遣を要請する事由

災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）

派遣を要請する理由

2. 派遣を希望する期間

3. 派遣を希望する区域及び活動

(1) 区域

(2) 活動内容（遭難者の捜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）

4. その他の細部については、〇〇〇〇〇〇において調整する。

犬 第 号
年 月 日

愛知県知事 殿

犬山市長

災 害 派 遣 部 隊 撤 収 要 請 書

災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、 月 日を
もって派遣部隊等を撤収されよう要請します。

医 薬 品 等 供 給 要 請
(市町村)

発信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分
	市町村	
	担当者	
	連絡先	

	番号 <input style="width: 100%;" type="text"/>												
<p>(薬務課)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>受信</td> <td>日 時</td> <td>令和 年 月 日 午前・午後 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>担当者</td> <td></td> </tr> </table>	受信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分		担当者		<p>(薬務課)</p>						
受信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分											
	担当者												
<p>(保健所)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>受信</td> <td>日 時</td> <td>令和 年 月 日 午前・午後 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>担当者</td> <td></td> </tr> </table>	受信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分		担当者		<p>(薬務課)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>受信</td> <td>日 時</td> <td>令和 年 月 日 午前・午後 時 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>担当者</td> <td></td> </tr> </table>	受信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分		担当者	
受信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分											
	担当者												
受信	日 時	令和 年 月 日 午前・午後 時 分											
	担当者												

愛知県知事 殿

犬山市長

下記のとおり医薬品等の供給を要請します。

記

1 納入先	名 称					3 代 金 請 求 先	ア イ ウ	要請市町村 納入先へ直接 その他		
	所 在 地									
	担 当 者			連 絡 先						
2 供給要請 医薬品等 (注)	セット番号	数 量	医 薬 品 等 名 称	規 格	数 量	医 薬 品 等 名 称	規 格	数 量		

(注) 原則としてセットにより要請すること。

医 薬 品 等 受 領 報 告
令和

愛知県知事 殿

犬山市長

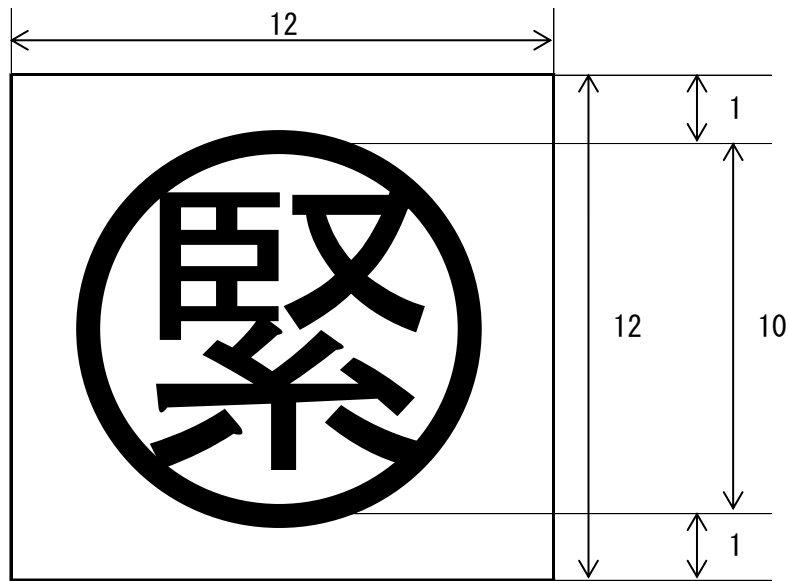
上記のとおり医薬品を受領しました。

1	受領年月日	令和 年 月 日	4	受領者の署名又は印
2	受領者職・氏名			
3	受領先	名 称		
		所在地		

災 害 情 報			
受信日時	令和 年 月 日 時 分		
発信機関		受信機関	
発信担当者		受信担当者	
災害の原因			
発生日時			
発生場所			
被害の程度			
災害に対して とられた措置			
その他 必要事項			

様式第66

緊急通行車両の標章



- 備考 1 色彩は、文字及び円の記号を赤色、地を白色とする。
 2 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

様式第67

通行記録簿

年月日	目的	通行区間		使用車両 船舶等		通行担当者	金額	備考
		区間	距離	種類	台数			

- (注) 1 必要に応じ都道府県又は市町村の車両等による場合とその他の場合に区分し別項として差支えないこと。
 2 「目的」欄は主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 3 都道府県又は市町村の車両等による場合「通行担当者」欄に車両番号を記入すること。
 4 借上げ車両等による場合は有無償の別を問わず記入すること。
 5 「金額」欄は、通行費又は車両等の借上費を記入すること。

第	号	年 月 日	
緊急通行車両確認証明書			
知 事 公安委員会			
番号標に表 示され て る 番 号			
車 両 の 用 途 (緊 急 輸 送 車 両 は を 行 っ て 輸 送 人 員 又 は 品 名)			
使 用 者	住 所		
	氏 名	() 局 番	
通 行 日 時			
通 行 経 路	出 発 点	目 的 地	
備 考			

(注) 用紙は、日本工業規格A5とする。

避難指示（勧告）記録簿

命 月	令 日	時 間	避難する地域	避難 人員	避 難 先	発信者氏名	受信者氏名